

## 小学生が県議会を体験！ 親子県議会教室を 開催しました。

8月7日に開かれた夏休み親子県議会教室に、小学校高学年の児童と保護者16組33人が参加。県議会クイズ、議員とのふれあいトークなどを通して県議会の仕組みや役割を学びました。

# いわて 県議会だより

平成30年  
9月定例会号 第168号

あなたも  
つくる  
いわて。  
いわて県議会



### 参加者の感想

#### 佐々木汰亮君 (滝沢小学校 6年)

僕は政治とか議会に興味があるので参加しました。議場に入るときはマナーやしきたりがあったり、いろんな発見や勉強になることがあって楽しかったです。議員さんとのふれあいトークでは、議員が防災士の資格を取るといふ報道があったので、賛成かどうかという質問をしました。

#### お母さんの佐々木知美さん

子どもはいつも新聞を読んでいて、政治や議会に関心を持っているようなので今回の親子県議会教室はいい機会になりました。議場にはなかなか入ることがないし、議員さんと関わること少ないので、親子ともども貴重な経験ができました。

#### 小田桐英人君 (岩手大学教育学部 附属小学校 6年)

僕は県議会クイズが楽しかったです。議員さんの役割は幅広く、仕事がいっぱいあることに驚きました。議員さんの収入はいくらかという発見もあったし、壇上に立って発言するときは緊張するだろうなと思いました。

#### お母さんの小田桐洋子さん

県政にふれる機会は少ないので親子3人で参加しました。実際にこの場所に立ってみて得ることも多いですね。今回の経験は児童会などで話すことに役立つと思うし、さらに生徒会など段階を踏んで大きな組織につながって、みんなの役に立つ仕事だと理解できたと思います。



「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デジタル版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

### ホームページのご案内



議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧ください。  
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0731/>

編集・発行・  
問い合わせ先

### 岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号  
電話 (019)629-6021・6022  
FAX (019)629-6014  
E-mail gikai@pref.iwate.jp



岩手県庁の隣です

9月  
定例会

9月定例会は、9月13日から10月15日まで開催されました。平成29年度の一般会計決算や特別会計決算など14件を認定したほか、平成30年度一般会計補正予算(第3号)など、知事から提出された42件の議案は全て可決・同意され、委員会が提出した13件の議案は全て可決されました。



10月15日の採決の様子

## 議決の状況

9月定例会では、平成29年度決算や平成30年度補正予算などが審議されました。平成30年度補正予算には、三陸防災復興プロジェクト2019の開催準備費など復旧・復興を進めるための経費のほか、「ふるさと振興」の推進、県民の安全・安心のための経費が計上されています。

### ◎平成29年度決算【認定】

一般会計1件、特別会計10件、  
企業会計3件

### ◎決算関連議案【可決】

平成29年度岩手県電気事業会計未処分利益剰余金の処分に関し議決を求めることについてなど2件

### ◎平成30年度補正予算【可決】

一般会計1件、特別会計7件、  
企業会計2件

### ◎予算関連議案【可決】

農業関係の建設事業に要する経費の一部を負担させることに関する議決の変更に関し議決を求めることについてなど6件

### ◎条例議案【可決】

住宅宿泊事業法施行条例など7件

### ◎人事議案【同意】

教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについてなど2件

### ◎その他の議案【可決】

大船渡漁港海岸防潮堤高潮対策ほか工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど15件

### ◎議員・委員会提出議案【可決】

意見書12件、決議1件(詳細は右欄に掲載)

### ◎請願

採択2件(詳細は2ページに掲載)

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

## 委員会が提出した議案

今定例会では意見書12件、決議1件が可決されました。可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

### ◎意見書【12件】

- ▶放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持を求める意見書
- ▶障がい者スポーツ振興への更なる支援と環境整備を求める意見書
- ▶子どもの適正な医療の確保を図るための措置を求める意見書
- ▶被災地における大学入試センター試験の臨時試験場及び検定料等免除の継続を求める意見書
- ▶公立学校の施設整備への十分な財政支援措置等を求める意見書
- ▶学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書
- ▶大規模災害からの早期復旧に必要なエネルギー供給と流通網の確保を求める意見書
- ▶地籍調査の更なる推進を求める意見書
- ▶スポーツの信頼回復と競技力の向上を求める意見書
- ▶産前産後ケアの充実を求める意見書
- ▶農業用ため池の防災・減災対策の推進を求める意見書
- ▶北海道・東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けたユネスコへの推薦決定を求める意見書

### ◎決議【1件】

- ▶国際リニアコライダー(ILC)の実現を求める決議



## 請願の採択状況

### ◎採択

- ▶被災地での福祉灯油の継続を求める請願
- ▶放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持を求める請願(意見書を発議し、関係機関に要望)

★意見書と採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

## 決算特別委員会



10月2日の決算特別委員会の様子

決算特別委員会は、一般会計や特別会計などの決算が議会に提出された際、その審査のために開催されます(通常、9月定例会中)。今年度は、10月2日から12日まで開催され、審査が行われました。平成29年度一般会計の決算額は、歳入が約1兆918億円(対前年度比4.7%減)、歳出が約1兆60億円(同2.2%減)です。委員長には名須川晋委員(改革若手、花巻選挙区)、副委員長には福井せいじ委員(自由民主クラブ、盛岡選挙区)が選出され、決算の内容や関連する施策の取り組み状況などについて、活発な議論が交わされました。審査の結果、一般会計について、限られた財源の重点的かつ効率的な活用に努めることや、将来を見据えた沿岸地域の総合的な振興、国際リニアコライダーの実現などのほか、人口減少対策など本県が直面する課題を踏まえた次期総合計画を定め、着実に推進することを求める附帯意見を付し、各会計の決算や関連議案は、原案どおり認定、可決されました。

## 県政に関する質問から

9月21日から9月26日まで行われた一般質問では、合計9名の議員が質問に立ちました。その中から2項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

## 9/21(金) 一般質問

質問タイトル上のアイコンは、質問の分野を示しています。

総務関係(他の4分野以外のもの) 環境、福祉関係 商工、教育関係 農林水産関係 土木関係

### 1人目

改革若手  
たむら まこと  
**田村 誠** 議員  
[大船渡選挙区]



### 2人目

創成いわて  
くどう まこと  
**工藤 誠** 議員  
[二戸選挙区]



### 3人目

自由民主クラブ  
ふくい せいじ  
**福井 せいじ** 議員  
[盛岡選挙区]



### 土木関係 国道107号のトンネル整備や道路改良等

**問** 国道107号白石峠及び荷沢峠での新たなトンネル整備、屈曲区間の改良などの早期事業化、積雪・路面凍結時の対策の充実について伺う。

**答** 国道107号は、気仙地区と内陸部を結ぶ横軸として幹線道路ネットワークを形成し、生活や物流、さらに産業振興を支える重要な路線であり、現在、法面防災工事や橋梁耐震工事を実施している。

峠部や屈曲区間については、カーブや勾配などの道路現況を把握しながら、整備優先箇所などについて調査検討しており、今後、どのような手法での整備が可能か検討していく。

積雪・路面凍結時の対策については、初期除雪の推進や路線バスなどの円滑な通行を確保する拡幅除雪、適時適切な凍結融雪剤の散布、道路情報板による情報提供、注意喚起標識の設置など、冬期通行の安全対策を行ってきたが、今後も現地の状況を踏まえ、一層きめ細かな冬期道路管理に努めていく。



### 環境福祉 被災者の医療費の一部負担金免除

**問** 被災者が適切な医療を受ける機会を確保するため、来年1月以降も免除を継続する必要があると考えるが、県の財政支援について伺う。

**答** 平成31年1月以降における一部負担金などの免除措置について、市町村などに意向確認したところ、厳しい国民健康保険財政の状況や被用者保険との公平性の観点などから、対象者の見直しや、免除措置の終期の検討についての意見もあったが、最終的には国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険及び障がい福祉サービスについて、全ての市町村で現行制度のまま継続するとの回答を得た。

県としては、いまだ多くの被災者が応急仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされ、健康面で不安を抱えており、引き続き医療や介護サービスなどを受ける機会の確保に努める必要があることから、2019年12月までの1年間、これまでと同様の財政支援を継続していきたいと考えている。

### 商工教育 世界文化遺産登録の国内推薦に向けた取り組み

**問** 縄文遺跡群が国内推薦を確実に得られるために、4道県が連携して政府に対してどのような活動を展開していくのか伺う。

**答** 宮古市で開催した北海道・北東北知事サミットにおいて、2020年の世界遺産登録実現のため、関係自治体の一層の連携のもと、来年2月1日までに国からユネスコに提出されるよう推薦書の改訂作業を進め、イコモスの現地審査に向けて準備を整えていくとともに、国内外でのさらなる普及啓発、機運醸成に全力で取り組んでいくことを合意した。

国に対しては、4道県が連携して縄文遺跡群の優位性について理解を得る取り組みを行ってきており、今後も機会を捉えて積極的な働きかけを行っていく。

また、現在開催されている「ジャポニスム2018」にあわせて、御所野遺跡の学術的価値の紹介などを行う予定としており、海外に向けても積極的に情報発信を行うことにより、推薦への機運を高めていきたい。

### 総務関係 県北地域の新たな施策展開

**問** 県北地域の食や文化などの魅力を全国に発信して認知度を向上させ、交流人口を増加させる取り組みが必要と考えるが、見解を伺う。

**答** 県北地域の多様な魅力を発信し、認知度を高めていくイベントなどの取り組みは積極的に進めていく必要があると考えている。二戸市で開催しているトリコロールフェスタでは、県と業界団体などで実施する鶏肉のPRイベントを併催するなど、より効果的な開催に取り組んでいる。また、県主体でスタートした北いわて学生デザインファッションショーは、久慈、二戸地域の縫製事業者が主体となり、参加事業者数も拡大して県外からも注目を浴びるイベントに成長している。

県北地域では、主催団体が地域や業界を越えて連携するなど先駆的な取り組みとして発展してきていることから、県としては次期総合計画における位置づけも考えながら、さらに効果的な魅力を発信する全県的なイベントなどの取り組みを検討していく。



トリコロールフェスタ

### 環境福祉 子どもの医療費助成の現物給付の対象拡大

**問** 未就学児までとなっている子どもの医療費助成の現物給付について、市町村とどのように調整し、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

**答** 県では、昨年の9月定例会で小学生までの拡大を求める請願が採択されたことを重く受け止め、これまで市町村との協議の場を設け、実施に向けた意見交換を行いながら、課題の把握や必要な調整を進めてきた。

現物給付の拡大に当たっては、新たに国民健康保険の国庫負担金などに減額調整措置が発生することや、医療給付費の増加が懸念されることから、慎重な意見もあったが、最終的には県内全ての市町村から賛成の意向が示され、県内統一して小学生まで行うこととした。今後は県、市町村でそれぞれ具体的な取り組みを推進していくが、受給者への周知期間などを考慮し、来年度の受給者証の更新時期に合わせた2019年8月の実施に向けて進めていく。



子どもの診療の様子

### 総務関係 人口減少社会における施策

**問** 人口減少社会のもと、歳入歳出やインフラ整備など様々な変化を想定した施策を展開する必要があると考えるが、どのように取り組むのか。

**答** 人口減少は、税収の落ち込みによる行財政への影響のほか、社会インフラのより効率的な維持管理が必要になるなど、地域の社会システムの維持・存続に大きな影響を及ぼすと考える。このため、次期総合計画の長期ビジョンでは、行政経営の方向性として限られた財源の重点的かつ効果的な活用を図るなど、持続可能な財政構造の構築を目指す。

社会インフラについては、産業や交流を支える基盤としての整備の方向性とともに、老朽化が進む施設の予防保全型維持管理や、県民との協働による維持管理など、良好に管理し次世代に引き継ぐ方向性を盛り込んでいる。これらの具体的な施策については、アクションプランで現状と課題をさらに分析した上で内容や工程表を明らかにすることとしている。



### 若者向け県議会傍聴案内ポスターを作成しました

くどう みやか  
 若手県立産業技術短期大学校 工藤 美也香さん

このポスターの一番の魅力は、県の鳥であるキジがインタビューを受けているという、インパクトの強さです。県議会の「難しそう、堅そう」というイメージを、老若男女問わずグスツとするような面白さで変えることを心がけ、少しでも県議会に親近感を持ってもらえるように制作しました。見た人の記憶に残るポスターになっていれば嬉しいです。



### 用語解説

▶ **ジャポニスム2018 (2ページ)** …日本とフランスの両国が連携し、芸術の都フランス・パリ内外の100近くの会場で、「世界にまだ知られていない日本文化の魅力」を約8カ月間にわたって紹介する大規模な複合型文化芸術イベント。

▶ **GAP (Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理) (3ページ)** …農業において、食品安全、環境保全、労働安全などの持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと。

▶ **ICT (3ページ)** …Information and Communication Technologyの略語で、情報や通信に関する技術の総称。ITに代わる表現として広く用いられている。

▶ **いわて子育てにやさしい企業認証 (4ページ)** …県では、仕事と子育ての両立支援など男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組む企業などを認証し、顕著な成果があった企業を表彰している。

## 9/25(火) 一般質問

1人目

自由民主クラブ  
 かんざき ひろゆき  
**神崎 浩之** 議員  
 [一関選挙区]



2人目

改革若手  
 たかはし はじめ  
**高橋 元** 議員  
 [北上選挙区]



3人目

日本共産党  
 ちだ みつこ  
**千田 美津子** 議員  
 [奥州選挙区]



### 農林水産 東京2020オリンピック・パラリンピックへの食材供給

**問** 食材納入の仕組みと今後のスケジュールはどうなっているか。また、大会への食材供給にどのように取り組んでいくのか伺う。

**答** 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会において、大会の飲食提供業務を委託する事業者の選定を進めており、9月末には選定される予定。また、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局では、各都道府県にGAPなどの認証を得た農林水産物の大会への供給に対し、意向調査を実施している。

飲食提供などの業務委託事業者は、意向調査で取りまとめた農林水産物のリストをもとにメニューを作成すると聞いている。調達する食材は、委託事業者が決定することから、委託事業者の選定結果を注視し、大会への県産農林水産物の供給に向けた取り組みを、関係機関・団体と連携しながら積極的に進めていく。



### 商工教育 家庭教育支援条例の制定

**問** 家庭環境が変化している今こそ、家庭教育支援条例を制定し、官民一体となって家庭教育の教育力を支援すべきと思うが、県の考えを伺う。

**答** 家庭教育の重要性を高める取り組みについては、いわて教育の日に関する条例や、いわての子どもを健やかに育む条例などに基づき、様々な家庭教育支援施策を展開しながら、その充実に取り組んでいる。具体的には、相談窓口の設置、メールマガジンでのPTA関係者などへの情報提供を通じた保護者への支援、子育てサポーターの養成と活用など、家庭教育の充実に取り組んできた。

家庭の教育力の向上は、本県の教育の充実に極めて重要であることから、次期総合計画や教育振興計画で家庭教育を支える環境づくりの推進を盛り込む方向としている。新たな条例制定に当たっては、本県の2つの条例との関係や他県の取り組みなども調査しながら、総合的な検討が必要であり、今後の研究テーマとしたいと考える。

### 農林水産 主要農作物種子条例の制定

**問** 主要農作物種子法廃止による懸念から、他県では条例制定の動きが加速しており、本県でも早急に条例を制定すべきと思うが、考えを伺う。

**答** 水田農業の振興上、米、麦及び大豆の優良種子の安定供給は極めて重要であり、主要農作物種子法の廃止後も引き続き県が関与し、優良な種子を安定的に生産、供給することは必要不可欠である。

このため県では、平成30年4月1日付で主要農作物種子法が廃止されたことに伴い、同日付で若手県稲、麦及び大豆の種子の生産等に関する要綱を施行し、従前どおり原種・原原種の生産・供給及び種苗の生産基準に係る検査を行うなど、優良な種子を生産・供給する体制を維持・継続することとした。

他の道県では条例の制定や制定に向けた検討を開始する動きもあり、今後、行政法学者など専門家の見解もいただきながら研究していきたい。



### 商工教育 北上市への特別支援学校高等部分教室の新設

**問** 北上地区には特別支援学校の高等部がないことから、北上翔南高校の空き教室を活用して早期に開設すべきと思うが、所見を伺う。

**答** 特別支援学校の高等部は、学習集団の確保などから広域圏を単位として設置することを基本としている。北上地区と同様に小中学部の分教室を設置している一関地区や遠野地区でも、高等部への進学に当たっては本校での教育を基本としており、特に花巻清風支援学校高等部においては、平成27年度に新たに作業棟を増築し、花北地区の生徒を対象とした高等部の教育環境の充実を図っている。

高等部のあり方を含む特別支援学校の教育環境の整備に対しては、他の地区からも様々な要望があり、現在取り組んでいる盛岡ひがし支援学校や釜石祥雲支援学校などの整備を重点的に進めつつ、今後の方向性については、生徒数の動向や全体的な学校配置のあり方などを総合的に勘案しながら検討していく。

### 環境福祉 児童虐待の現状と課題

**問** 北上市における児童虐待死亡事件を、なぜ防げなかったと考えているか。また、その要因、課題は何か、現時点での考えを伺う。

**答** この事件では、1歳6カ月健診を受診していなかったことや通っていた保育施設から心配な子どもとして情報提供があったことなど、児童虐待の兆候が見られたにも関わらず、この家庭に支援の手を差し伸べることができないまま死亡に至ってしまったという意味で、防げた可能性はあったのではないかと考えている。

なぜ支援ができなかったのか、どのような支援が可能であったのかなど、その要因や課題については、社会福祉審議会児童福祉専門分科会措置部会で事実の把握及び発生原因の分析などを行っており、今後の検証により明らかになることを期待している。

### 環境福祉 胆江地域の周産期医療の現状

**問** 胆江地域の周産期医療の現状についての考えを伺う。

**答** 胆江地域の産婦人科及び小児科は、人口当たりの医師数が県平均を下回るなど、周産期医療の確保は重要な課題であると認識している。

県では、4つの周産期医療圏を設定し、胆江地域は県南圏域の中で医療機関の機能分担と連携のもと、分娩リスクに応じた適切な医療提供体制の確保を図っている。また、県内の分娩取扱診療所及び周産期母子医療センターへの超音波画像診断装置や、県立胆沢病院をはじめとする中核病院への小児医療遠隔支援システムの整備などにより、関係大学と連携した遠隔画像診断による医療連携を推進し、産科医や小児科医が不足している地域でも質の高い医療が受けられる体制の整備を進めている。

今後も若手県保健医療計画に基づき、県南圏域の周産期母子医療体制の整備を図るとともに、ICTを活用した医療連携を強化しながら、周産期医療の充実に努めていく。



お母さんと子ども



1人目

いわて県民クラブ  
ハクセル 美穂子 議員  
[滝沢選挙区]



2人目

改革岩手  
阿部 盛重 議員  
[盛岡選挙区]



3人目

社民党  
小西 和子 議員  
[盛岡選挙区]



農林水産 10年後の農林水産業の目指す姿

**問** 次期総合計画に盛り込む10年後の農林水産業が目指す姿について、考えを伺う。

**答** 本県の農林水産業は、地域経済を支える基幹産業の一つとして、将来にわたり持続的に発展していくことが重要である。

10年後を見据えると、経営力の高い経営体の育成や新規就業者が参入し、能力を発揮できる環境の整備、生産現場のイノベーションの推進による生産性や収益力の高い産地づくり、高品質な県産農林水産物のブランド化と販路の開拓・拡大、農山漁村ビジネスの展開や都市住民との交流などによる地域活性化に重点的に取り組んでいくことが必要と考える。

こうした取り組みにより、生産者が豊かさを実感し、意欲と希望を持って生産活動に携わることができる強い農林水産業と、豊かな自然と共生し生き生きと暮らすことができる活力ある農山漁村を意識しながら取り組んでいくべきと考える。



田園の風景

環境福祉 いわて子育てにやさしい企業認証への社会的評価点の付加

**問** 制度のメリットを明確にし、いろいろな子育て支援を進めている建設業にも浸透するよう工夫すべきと考えるが、県の考えを伺う。

**答** 認証企業に対しては、県単融資制度の保証料率の引き下げや、子育てにやさしい職場環境づくり助成金、日本政策金融公庫の特別融資制度の対象とするなどの優遇措置の見直しを行い、労働局や女性活躍推進員と連携しながら、認証取得について企業へ働きかけ、拡大に取り組んできた。

建設企業に対しては、2019、2020年度に適用される新しい県営建設工事競争入札参加資格審査の審査基準の見直しを行い、いわて子育てにやさしい企業等認証企業及びいわて女性活躍認定企業の加点項目を新設し、優遇措置を拡大することとしている。今後、制度説明会を開催して周知するとともに認証企業などの拡大を図り、働き方改革や子育て環境の整備につながるよう取り組んでいく。

環境福祉 障がい者の多様な就労の場の確保

**問** 障がい者の多様な就労の場の確保について、現状と今後の対応策について伺う。

**答** 県では、障がい者の特性や就労に当たっての留意事項をまとめた、いわて障がい者就労応援ハンドブックを配付するなど多様な就労を促進しており、障がい者就労支援事業所では一般企業での就労が困難な障がい者が食料品の製造・販売、清掃作業、飲食店営業など様々な仕事に従事しているほか、衣料品製造など新分野への参入も進められている。

また、農福連携の取り組みとして、農家と就労支援事業所との作業委託に係るマッチング支援や、アドバイザー派遣による農業技術指導などを実施してきた結果、農業分野での就労が拡大している。

県としては、農福連携の取り組みを一層推進するほか、障がい者の就労に対する意識啓発を図るとともに、一般企業や特別支援学校など関係機関とも連携し、障がい者の個性に応じた多様な就労の場の確保に向けた取り組みを強化していく。

環境福祉 避難行動要支援者の避難

**問** 県では、避難の課題をどう認識し、今後どのように市町村への支援を行うのか伺う。

**答** 平常時からの避難行動要支援者名簿の提供は約4割にとどまり、要支援者が自身の情報を周囲に知られたくないなどの理由で同意が得られないことが主な課題になっている。また、避難行動要支援者の個別計画について、平成29年度末で15市町村が策定に未着手となっており、地域における避難支援者の確保が難しいことなどが課題として挙げられる。

県としては、今後も研修会などで課題に係る先進的な取り組み事例を紹介するなど市町村の支援を行うほか、防災訓練で要支援者の避難訓練にも取り組むよう働きかけていく。さらに、岩手県地域防災サポーターの派遣や自主防災組織リーダー研修会の開催などを通じて、地域の防災活動を支援し、避難行動要支援者への避難支援の充実に取り組んでいく。



宮古市総合防災訓練

商工教育 高校と地域の関わり

**問** 安易な統廃合の検討ではなく、学校と地域が創り出す地域の良さを守ることが教育の中での幸福度につながると考えるが、知事の考えを伺う。

**答** 学校教育においては、知・徳・体をバランスよく身につけてもらうことが大切である。また、県民からは、高校において地域の産業や文化などへの一層の理解を深めることが、地元定着や地域の活性化につながるという大きな期待があると認識しており、次期総合計画長期ビジョンの中間案において地域社会や地域の産業界などとの交流、連携を推進し、学校の魅力を高めていくこととしている。

教育委員会では、高校再編計画の後期プログラムの策定に着手しているが、具体的な検討に当たっては、地域を含めた社会とのつながりの中で、これからのよりよい社会と幸福な人生を創っていく力を高校教育で育むため、中長期的かつ戦略的な視点にも立ち、高校のあり方を検討してほしいと考えている。



高校生の地域活動(西和賀町スノーパスターズ)

総務関係 災害公営住宅などの高齢者の見守りや交流活動支援

**問** 災害公営住宅や応急仮設住宅の高齢者の見守りや交流活動支援の実態と、財政を含めた今後の見通しについて伺う。

**答** 国の被災者支援総合交付金を活用し、社会福祉協議会が設置している生活支援相談員や市町村の支援員などが、災害公営住宅や応急仮設住宅などを戸別に訪問し、見守りや相談支援などを行っており、地域によっては老人クラブによる見守りなど住民が主体となった活動も行われている。また、生活支援相談員は住民同士の交流機会をつくるイベントやサロン活動などにも協力している。

県としては、災害公営住宅などにおける高齢者の見守りなどの取り組みを継続して実施していく必要があると考えており、そのための財政措置を継続するよう国に要望している。今後も被災者が安心して暮らすことができるよう、被災者一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援に努めていく。

県議会からのお知らせ

● テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」

一般質問が行われた日に、質問の様子を3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビで18時50分台に放送します(放送時間は変更になる場合があります)。

● 一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページでお知らせしています。

トップページの定例会情報「一般質問通告」をクリック!

● 県議会に来てみませんか

県議会の本会議や常任委員会、特別委員会などの会議は、傍聴することができます。車いすの方や盲導犬同伴の方も傍聴が可能です。

傍聴の受付は、会議開始30分前から行います。

問合せ先: 県議会事務局総務課(TEL019-629-6006)

【掲載誤り】いわて県議会だより第167号(平成30年8月9日発行)の表紙写真の右下に一部文字の誤りがありましたので、お詫びのうえ訂正させていただきます。×誤→リニューアル ○正→リニューアル